



問 那覇市が草木処理を燃やすごみとして処理することを検討していると聞いている。本町の見解は。

副町長 検討事項ではあるが方針は決まっていはいないという回答があった。本町は、堆肥化する第3の再生利用となっている。引き続き適正な処理を行っていく。



問 那覇市が動くから南風原町が動くではなく、施設を受け入れた皆さんに対しても説明が必要。町の立場、言い分、状況、住民の理解まで責任を持って検討していただきたいがどうか。

住民環境課長 環境や資源、子供たちの生活など、今後本町としてどうしたら良いか、検討していく。

臨時休校による授業時数確保の対策は

問 新型コロナ対応のため、臨時休校・休業が長期となった。授業時数確保の対策はどうなっているか。

教育長 夏休みの短縮、行事の精選、短縮日課による6校時や7校時の設定など、各学校ごとに取り組んでいる。

問 時数を確保するための土曜日授業を検討してはどうか。

学校教育課長 学校と確認しながら土曜日についても検討していく。

テレワーク人材育成について

問 本町でテレワークの人材育成事業について導入を検討できないか。

副町長 事業を実施している市町村の状況を調査検討していく。

問 コロナ禍の中、大変厳しい予算だが、三次補正があれば、導入は考えられるか。

産業振興課長 今後、三次補正があったら、本町も前向きに計画を立て検討していく。



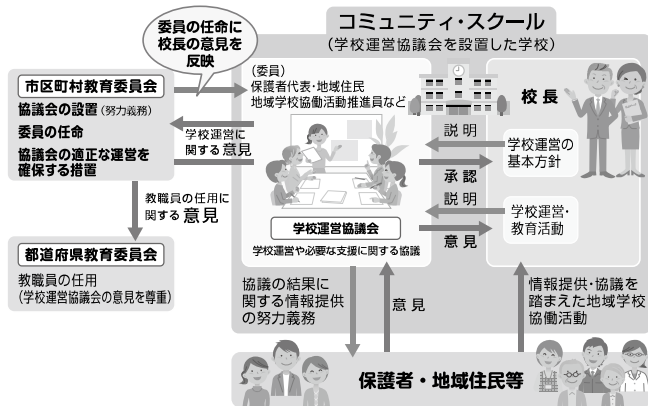
問 コミュニティスクール導入に向けて、学校評議員制度と学校運営協議会との関係性をどのように認識しているか。

教育長 学校評議員は学校長の求めに応じて学校運営に個人の立場で意見を述べるもので、学校運営協議会は一定の権限を有する合議制の機関で、役割は異なるものである。

問 学校運営協議会も意見を言ったり、評価をしたり内容的には同じだと思う。学校運営協議会を設置したら、学校評議員はいらないと考えるが、どうか。

学校教育課長 学校運営協議会を立ち上げた後は、評議員会は廃止している。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



QRコードを読み取ることで各議員の質問の様子を見ることができます。